



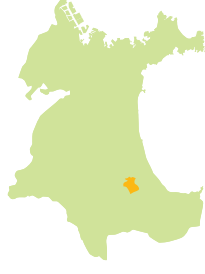
太田市

文教厚生常任委員会
2月4日 学校法人 太田国際学園ぐんま国際アカデミー



静岡県吉田町

議会運営委員会視察
1月28日 静岡県吉田町議会
1月29日 神奈川県大井町議会



神奈川県大井町

太田市 英語イマージョン教育に 衝撃を受ける

昨年11月の英語教育先進学校への研修に引き続き、今回は、榛東村教育委員会と一緒に、英語教育特区である太田市のぐんま国際アカデミー初等部へ授業の見学に行ってきました。

ぐんま国際アカデミーは、2005年に初等部が開校、2008年に中等部、そして2011年に高等部が開校した小中高一貫校です。日本人教員と外国人教員によって「英語イマージョンプログラム(教育)」を実施しています。「英語を教える学校」ではなく、「英語で教える学校」であり、2011年には国際バカロレアワールドスクールとして認定されました。

子どもたちが学ぶ校舎は、各教室にドアはなく、オープンスペースとなっています。担任が2人いて、1クラス30〜36人です。教科によってクラスを2ヶ

ループに分けて授業を行っているのが特徴です。見学では、オープンスペースなどを上手く活用した授業の様子を見ることができました。また、子どもたちが主体的に英語で発言しており、教育内容とその環境に大変驚きました。

家族、社会、世界で役立つ大人に育てるのが目標であると校長より教育理念など丁寧に説明していただきました。また、公立学校の参考にはならないが、子どもに接するALTは、母国での教員など、教育的な背景をもった人材を雇用することができるのと良いのではないかとアドバイスをいただきました。改めて、国際社会の中で活躍できる人材を育成するためには、ここまでの教育環境が必要なのだと衝撃を受けました。村も小学校・中学年での英語教育の実施に向けて、検討



仕切りのない校舎で、オープンスペースを利用した授業を実施

※英語イマージョンプログラム
：英語で、算数・理科・社会・
体育等の一般教科を学ぶこと

吉田町議会 議会目標・ 議員目標を設定

吉田町議会は「開かれた議会」を目標にさまざまな活動に取り組んでいます。

- ①議会目標と議員目標を設定し、1年後自己評価をして住民に公表する。
- ②全議員で、それぞれの質疑や討論の内容を確認しお互いに助言しあい、本会議に臨んでいる。
- ③議会報告会を町民に対して、年1回もしくは2回実施している。
- ④ICT推進特別委員会を設置し、「開かれた議会」をさらに推し進めるための議会改革をおこなっている。

他にも、議会基本条例の制定など榛東村議会で行なっていない多くのことに取り組んでいます。

吉田町議長は、「二元代表制としての首長と議会の関係をしっかりと作っていく」と言っています。

二元代表制とは議員と首長は、住民に選挙で選ばれる。よって、両者とも住民に対して直接に責任を負う。両者の関係は、対立の原理を基本にしながら、相互の抑制と均衡によって、いずれかの独善と専行を防止する制度のことです。

榛東村議会は、吉田町議会に多くのことを学び、実践することが急務と感じました。

※ICT：情報通信技術を意味し、パソコンやインターネットなど

大井町議会 反問権を認めている

過日防災協定を結んだ大井町議会において視察研修を行いました。

大井町議会も議会報告会を行い、議会基本条例を制定しています。他に特徴的なことが二つありました。一つは首長に反問権を認めていること。しかし、使われたことはないとのこと。反問権とは、執行は本会議での質疑、質問に対して答弁するのみで、反問することとは認められていません。

しかし、議会で合意して議長の許可があれば反問することができます。二つ目は総合計画の議決ですが、以前は地方自治体に総合計画の策定と議会議決が義務づけられていました。しかし、平成23年5月に地方自治法が改正され、策定と議会議決は地方自治体の裁量に委ねられました。大井町は議会の要請により議会議決することになっているとのことです。



大井町副町長も参加しての研修